

＜ 地理歴史・公民 ＞科 学習シラバス

科目	紙のまち探究	学年・コース	3年 紙のまちづくり	単位数	1単位	教科書	知っておきたい紙パの実際 (紙業タイムス社)
学習の到達目標		本校が所在する四国中央市の地場産業である紙産業について諸資料を活用して学習することにより、地域への理解を深め、地域への愛情を育む。また、地域における諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察したり、解決に向けて主体的に思考・判断したりする力を養い、地域社会に参画する人材としての在り方生き方について自覚を深める。					
評価の観点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度		
評価の内容	地域の地場産業である紙産業に関する基本的な知識を理解するとともに、諸資料から紙産業に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		地域の地場産業である紙産業や地域における課題を見だし、その本質などについて社会の変化などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。		地域の地場産業である紙産業と地域における諸課題の解決について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的・協働的に探究しようとする態度を養う。		
評価の方法	・定期考査 ・学習活動における発言内容 ・予習や復習、ノート等の取り組み状況		・定期考査 ・長期休業中の課題 ・予習や復習、ノート等の取り組み状況		・学習活動への参加姿勢や態度 ・学習活動における発言内容 ・長期休業中の課題		
学期	月	単元名・小単元名	学習の指導内容			評価の観点	
1 学 期	4	1 紙・パルプ産業の歴史と現在	・紙とは何かや紙の原料・製紙技術の変遷・現在の製糸業界の役割等について理解する。			○	○
	5	2 用水事業 製紙を支える配水設備	・工業用水施設の現地見学を通して、紙・パルプ産業を支える用水事業について学習する。				○
	6	3 紙の種類や作り方	・パルプの製造や古紙処理の工程・抄紙や塗工の過程・仕上げや加工の工程などについて学習し、紙・板紙の規格や種類・不織布について理解する。			○	○
	7	4 紙の生産と消費	・地域や国ごとに使用方法に特徴がある等、世界の紙・板紙の生産と消費について学習する。			○	○
2 学 期	8・9	5 紙・パルプの原燃料の事情について	・パルプの消費量の推移やその原料となる木材チップに関して、植林や違法伐採対策などについて理解し、我が国の古紙を原料とする製紙産業の現状について、古紙回収率や利用率の推移から考察する。			○	○
	10	6 港湾施設 港と共に発展したまち 四国中央市	・港湾施設の現地見学を通して、四国中央市の紙・パルプ産業を支えている港湾施設が果たしている役割や機能について学習する。				○
	11	7 製紙産業のこれから	・カーボンニュートラルへの取組や脱炭素化に向けた取組など、製紙産業が積極的に取り組んでいる課題分野について理解し、流通業界や原料古紙業界・紙の用途やユーザーの動向などから、製紙産業の取り巻く状況と紙の需要状況について考察する。			○	○
	12						
3 学 期	1	8 「紙のまち」としての 四国中央市	・これまでの学習内容を振り返りつつ、他の地域と比較しながら、四国中央市の「紙のまち」としての特色や強みなどについて理解する。				○
	2						
	3						
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見や考えを具体的に表現し、積極的に発言できるようにすること。</li> <li>・毎日のニュースや新聞をよく見て、社会事象全般に対する興味・関心を高めておくこと。</li> <li>・学習したことを生かして、よりよい社会の実現のために主体的に行動できるようにしていくこと。</li> </ul>					